

素敵に輝け！

真剣に取り組む姿を見た

心配していた天気も問題なく、5月21日（土）、運動会を開催することができました。運動会のスローガンは「最後まで協力し、全力を出し切って最高の運動会にしよう！」です。子供たちはこのことを心がけて本番に向けて練習を続けてきました。開会の言葉で、「運動会では競技をするので、勝ったり負けたりということはありますが、その結果に関係なく、精一杯に取り組む姿はとても素敵です。だからこそ全力を出し切ることで最高の運動会になるのだと思います」と話しました。それと「全力を出し切る姿、協力する姿をたくさん見せてください」とも。

閉会式で6年のAさんが泣き続けているのを見付けました。優勝した団に所属していましたが、その涙が嬉し涙ではないことは表情からすぐに見て取れました。Aさんは応援合戦で負けたことが悔しかったのです。

予行と本番の2回、応援合戦を見ました。予行では、「もう少し〇〇ができていたらよいな」と感じる箇所がありましたが、本番は赤黄団・白青団共に見事でした。中二日の間に、「あともう少し」のところを修正しようと、意見を出し合い、指示をしながら練習を重ねたのでしょう。それが伝わってくる程の出来映えでした。

Aさんは応援団長。いろいろな重圧を感じながらの本番であったでしょうが、立派にその役割を果たしていました。でも結果は負け。その結果を責任に置き換え一身で受けとめようとしていたのでしょう。それで涙が・・・。

閉会式、写真撮影が終わって、私はAさんに声をかけました。「ほんと一によかったよ。校長先生、感心したよ。よく頑張ったね。泣かんでいいがいよ」と。Aさんは泣きながら頷いていました。こんなに真剣になって行事に取り組んでくれる子がいることを、嬉しく、また誇らしく思います。金山小学校には、こんなに素敵な子がいるんだよと。

Aさんは、よい経験をしました。みんなの先頭に立ち、大衆の前で大声を張り上げ、応援合戦を進めたのですから。この経験を大きな自信にして、今後に活かしてほしいものです。



但し、「この経験をこれからの生活に生かす」というのは、子供たちや教師にとっては常套句になっている感があります。実際には易しいことではありません。場面が変わるとまた緊張するし、緊張すると声も動きも小さくなります。よい経験を次の機会に本当に生かすことができるようにするのは教師の役割で、教師の腕の見せどころです。子供たちの運動会での頑張りを、本当に次に生きるものにするために、私たち教師も子供たちに負けないように頑張ります。

昨日、Aさんと話をしました。「家で『よかったよ』と言っておられたでしょう」と聞くと「はい」とのことでした。そして、「運動会でみんなの先頭に立って・・・。これは凄いことだよ」と伝えると、笑顔で頷いていました。